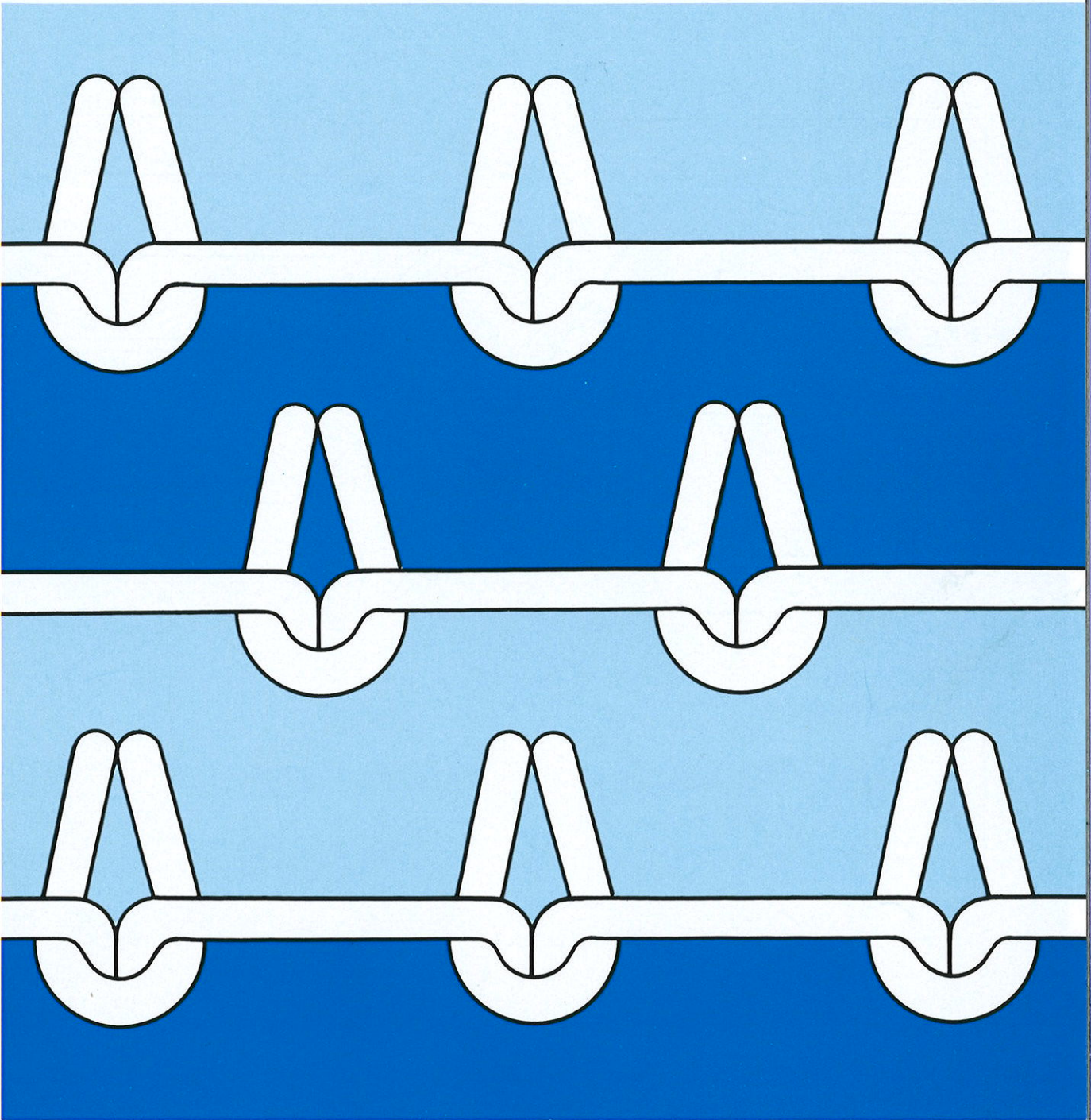


ベビースクイ

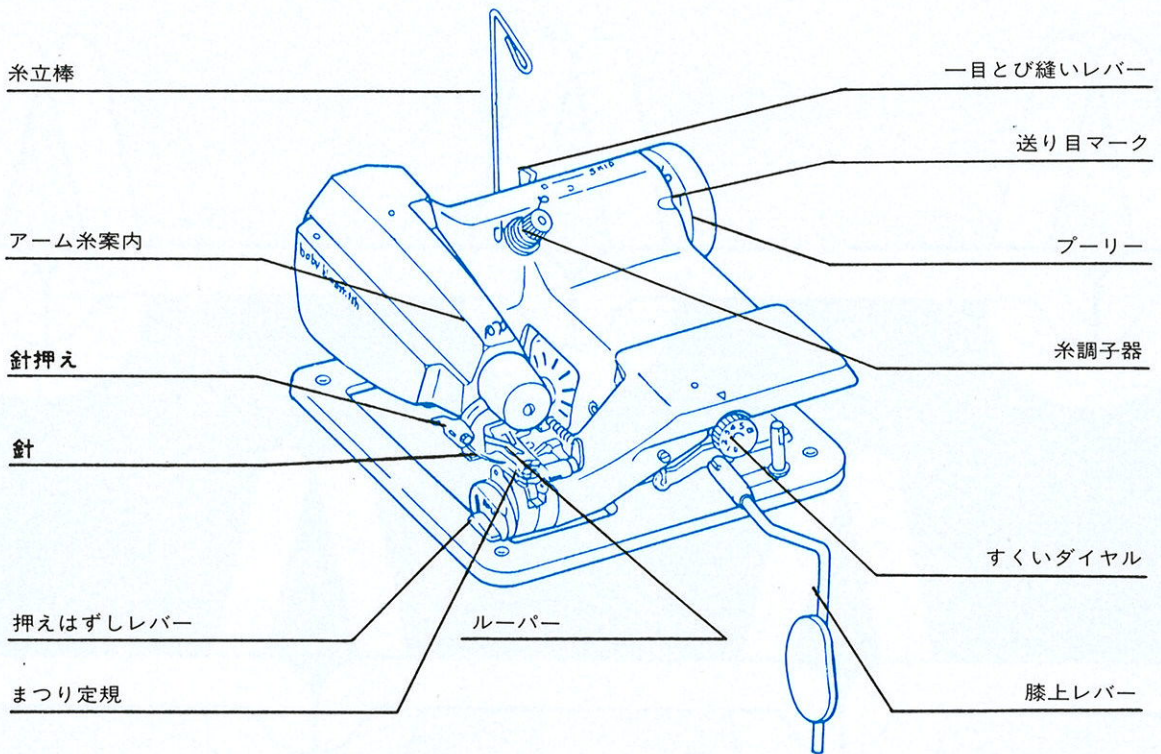
CM-606型

ご使用のてびき

株式会社 ジューキ



各部の名称



はじめに

このたびは、ベビースクイをお買上げいただきましてありがとうございます。
このてびき書をよくお読みになり、正しく、末永くご愛用ください。

目次

1. クランプ・膝上レバー・コントローラーのセット 1	7. 縫い終りと糸切り..... 5
1-1. クランプのセット..... 1	7-1. 縫い終り..... 5
1-2. 膝上レバーのセット..... 1	7-2. 糸切り..... 5
1-3. コントローラーのセット..... 1	8. 針のとりつけ..... 6
2. 糸の通しかた..... 2	9. 補助テーブルのとりつけ..... 7
2-1. 糸立てのセット..... 2	10. 糸のほどきかた..... 7
2-2. 糸の通しかた..... 2	11. 一目飛び縫い..... 8
3. 縫い始め..... 3	12. 八刺し縫い..... 8
4. 糸調子の調節..... 3	13. 注油のしかた..... 9
5. すくいダイヤルの調節..... 4	14. 点検と調節..... 9
6. 送り目長さの調節..... 5	

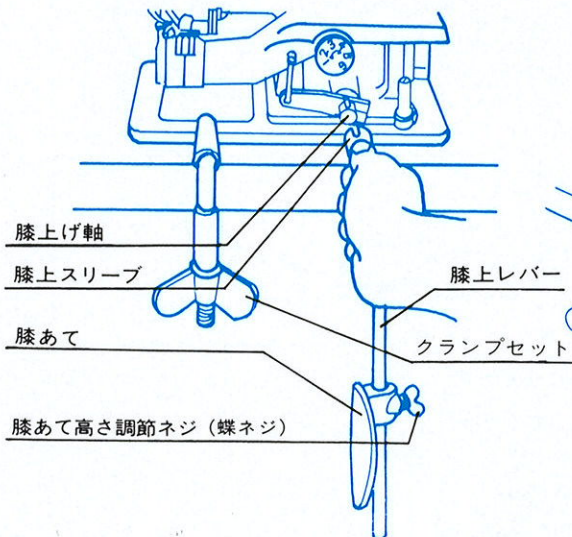
1 クランプ・膝上レバー・コントローラーのセット

1-1. クランプセット

- 付属のクランプを使用してミシンをテーブルに固定しますと膝上レバーの操作が楽になります。

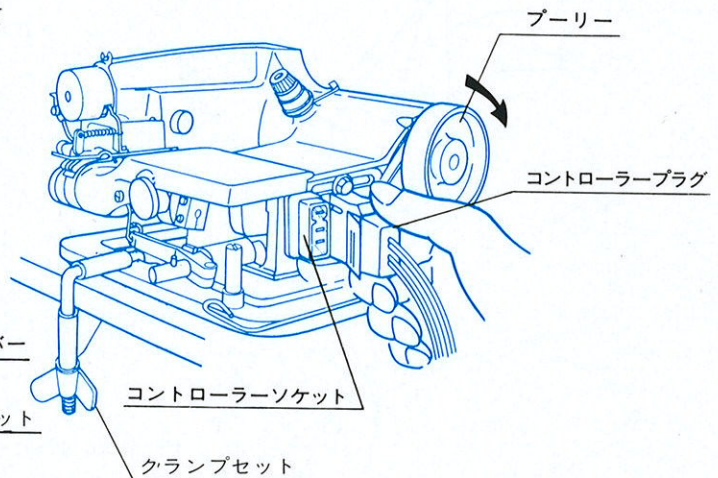
1-2. 膝上レバーのセット

- 膝上スリーブを膝上軸にしっかりと差し込んでください。
- 膝あての高さを膝に合わせて調節し、膝あて高さ調節ネジ(蝶ネジ)を手で締めてください。



1-3. コントローラーのセット

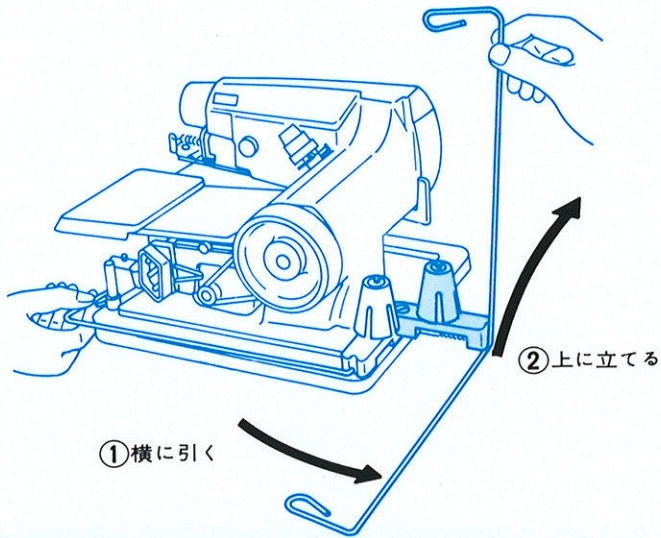
- ソケットにはコントローラープラグをしっかりと差し込んでください。
- ペダルを踏むとプーリーは向う側に廻ります。



② 糸の通しかた

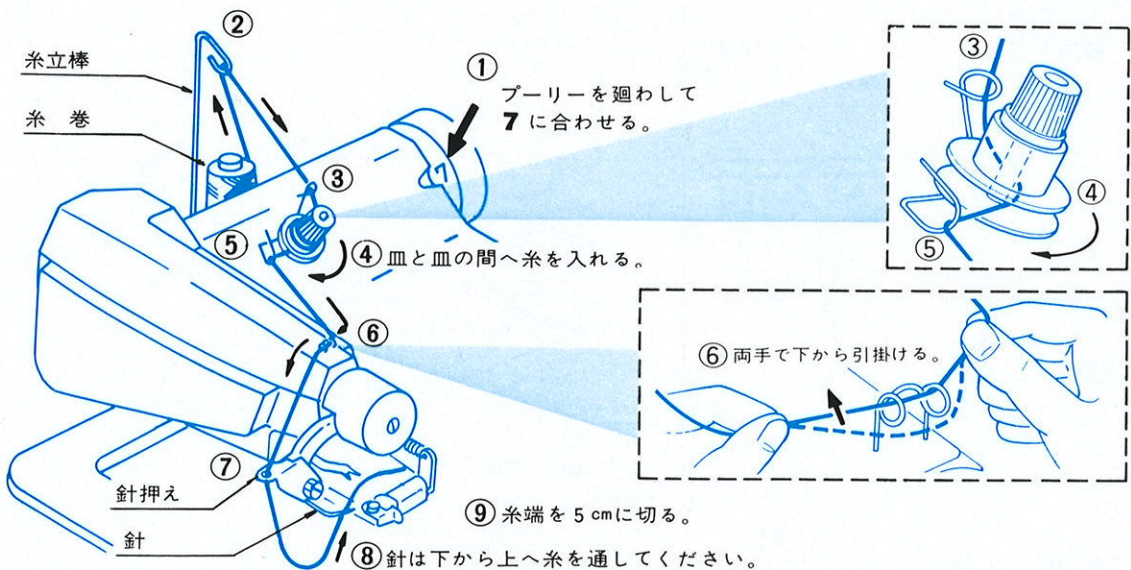
2-1. 糸立てのセット

- 糸立ての先端を持って、横に開いてから持ち上げてください。



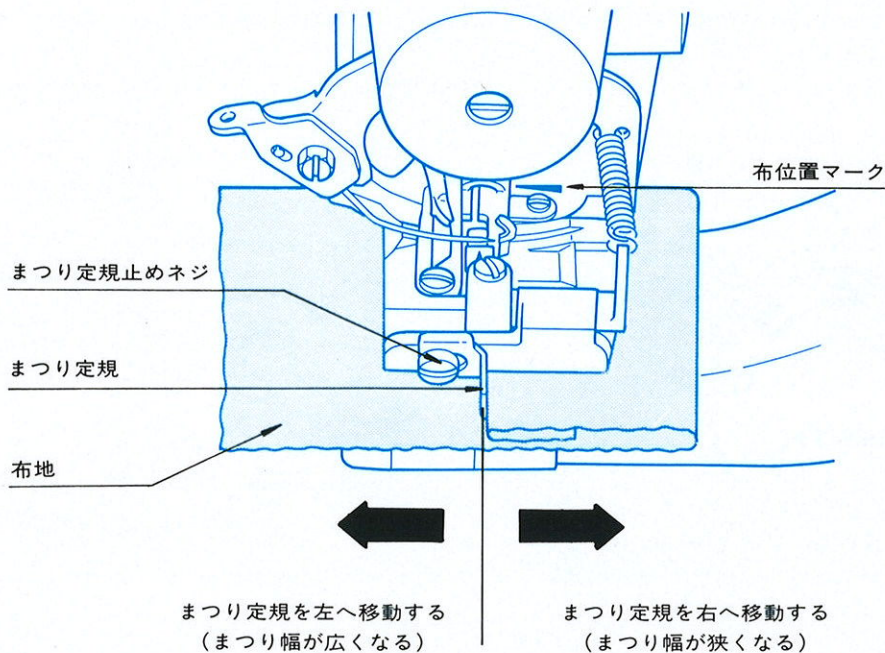
2-2. 糸の通しかた

- 糸は図の番号順に通してください。



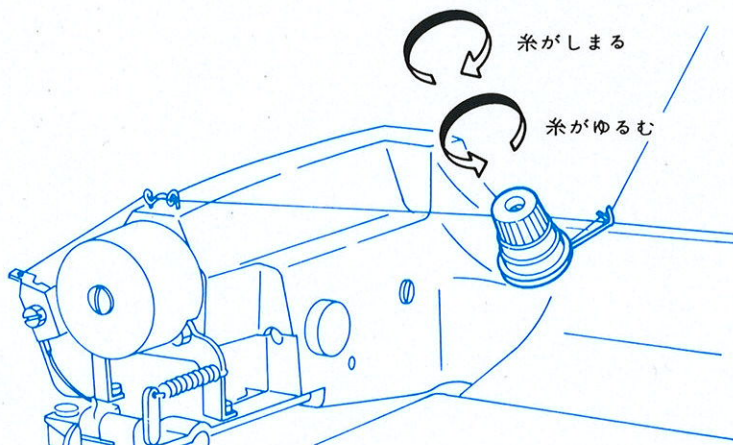
3 縫い始め

- 針板の布位置マークより布を奥へ入れて縫いをはじめてください。
- この時、まつり定規の右側面に布の折り返えしをそわせて、布を送り込んでください。
- 又このミシンは、まつり定規を左右に移動する事によって、まつり幅の調節ができます。その場合、図のようにまつり定規止めネジをゆるめ、まつり定規を左へ移動すると、まつり幅は広くなり、右へ移動すると狭くなります。



4 糸調子の調節

- 糸調子は布に合わせて締め過ぎないように調節してください。
- 布の送り量によっても糸締まりが変わりますから、糸調子を調節してください。



5 すくいダイヤルの調節

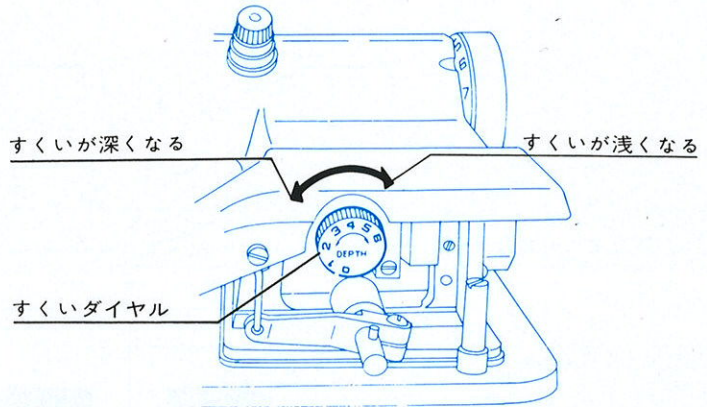
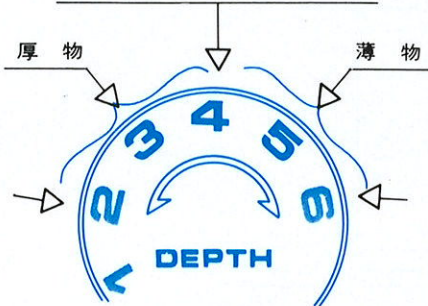
- すくい縫いミシンの針のすくい深さの調節は非常に重要ですから、布に合わせて十分に調節してください。

[CM-606型]

- 中厚地の場合は普通4の位置で縫えますが、すくいを浅くする場合は少しダイヤルを右へ、深くする場合はダイヤルを少し左へ廻わしてください。

※厚地の場合はすくいを浅く(ダイヤル4～2)、薄地の場合は深く(ダイヤル4～6)調節してください。

中厚物を縫うとき(又は八刺し縫い)



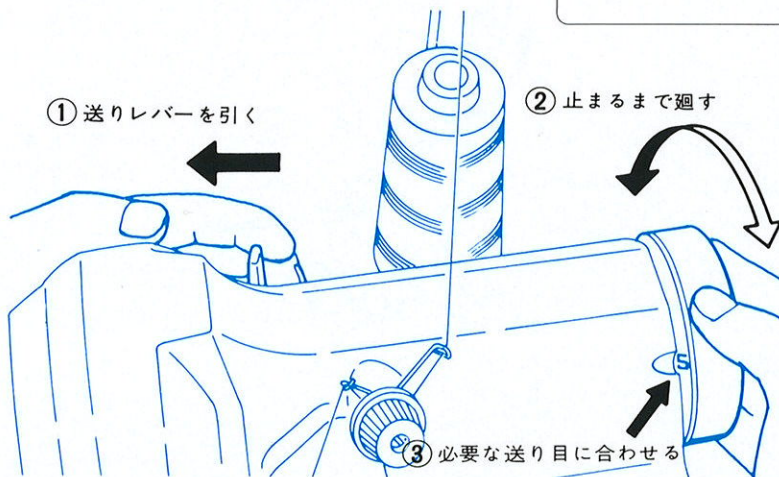
6 送り目長さの調節

●送り目長さを変える場合は次の順序でセットしてください。

- ①送りレバーを左手で引き、そのまま左手をはなさない。
- ②右手でプーリーを向う側へ止まるまで廻す。
- ③プーリーが止まった後、レバーを引いたままプーリーを手前に廻し、必要な送り目マークに合わせる。
- ④送りレバーをはなす。

●プーリー送り目マークはミリメートル表示です。

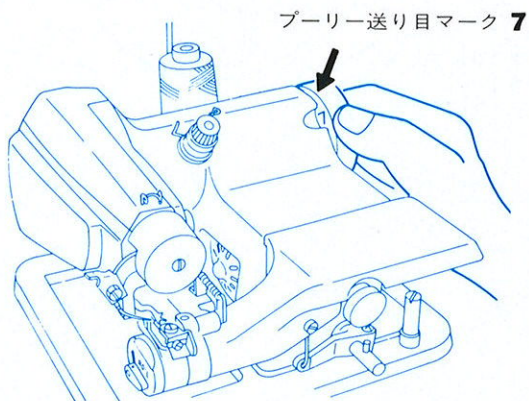
送り目長さの調節範囲
・CM-606型 3^m～8^m



7 縫い終りと糸切り

7-1. 縫い終り

●縫い終りは必ずプーリーを廻わして、送り目マークを7に合わせてください。

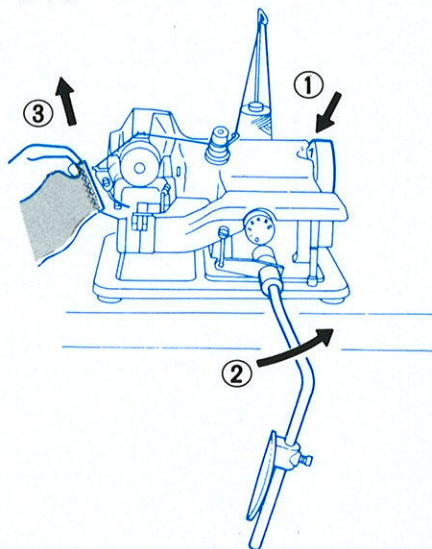


7-2. 糸切り

●糸切りは次の順序で操作してください。

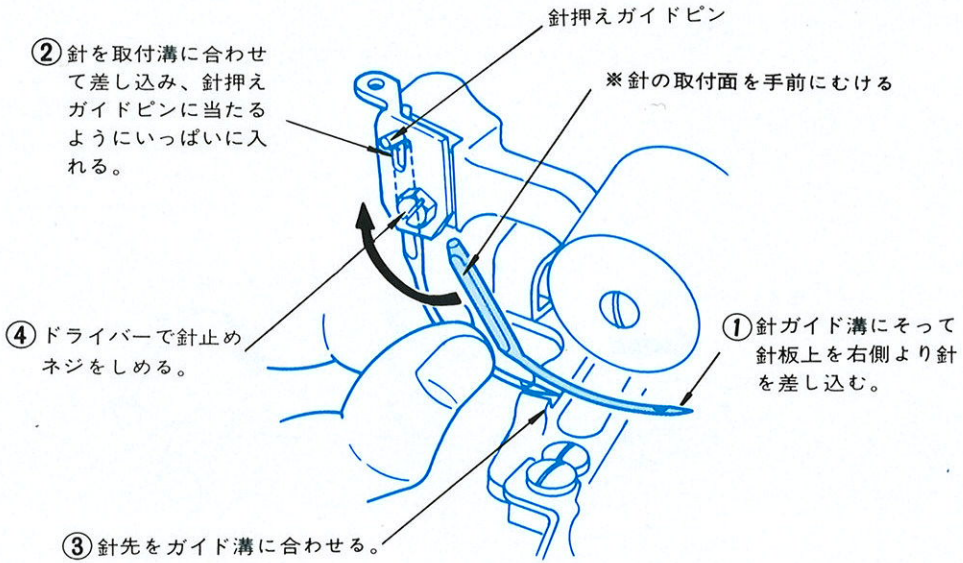
- ①プーリーを7に合わせる
- ②押えを下げる。
- ③布ごと、向う側へ引張る

※プーリーの送り目マークが7以外のところで布を引くと針が折れることがあります。

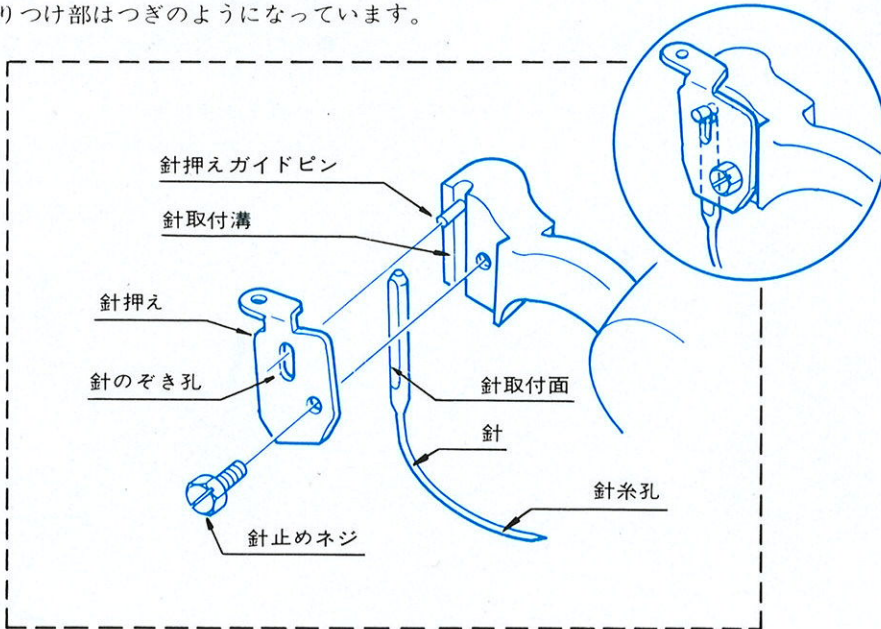


8 針のとりつけ

●針は図の番号順にとりつけてください。



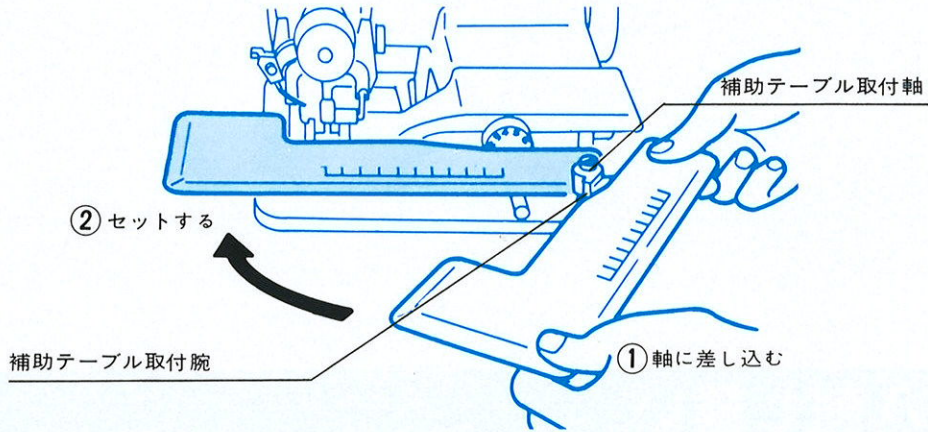
※針のとりつけ部はつぎのようになっています。



9 補助テーブルのとりつけ

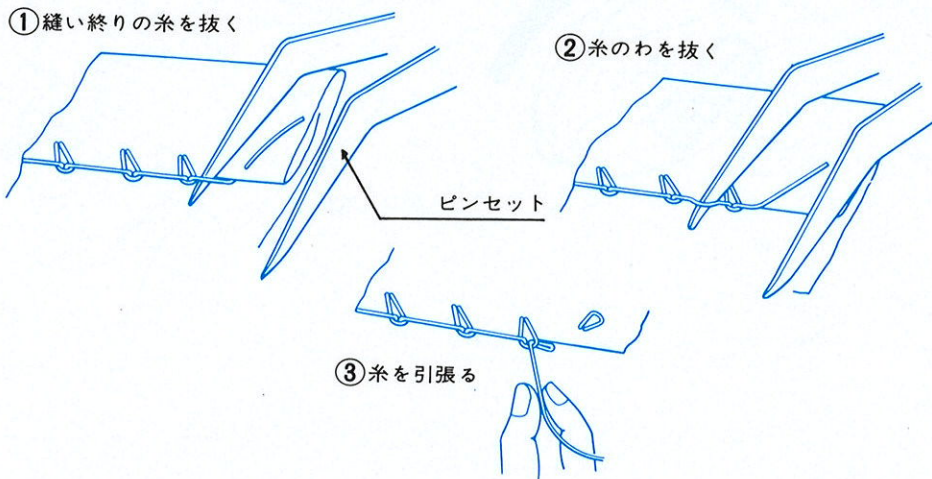
●補助テーブルは、筒もの縫い以外の特別なものを縫う場合にご使用ください。

- ①補助テーブル取付腕をとりつけ軸に差し込んで、
- ②補助テーブルをミシンに合わせて補助テーブル取付腕の蝶ネジを締めつけてください。



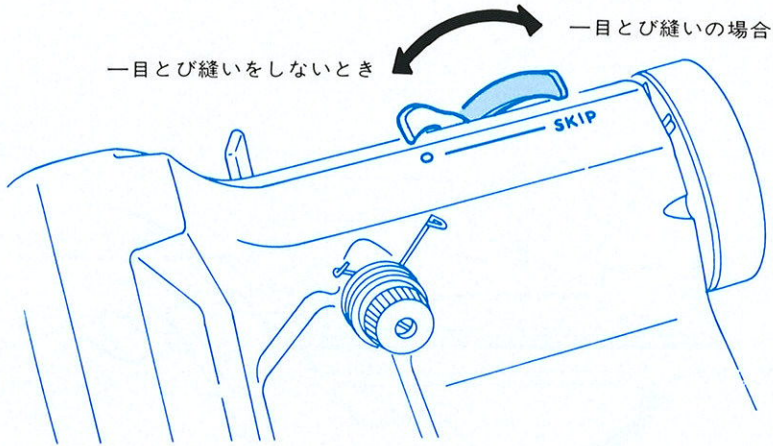
10 糸のほどきかた

●縫いの終りから糸を一目外して引けば縫い糸はほどけます。



11 一目とび縫い

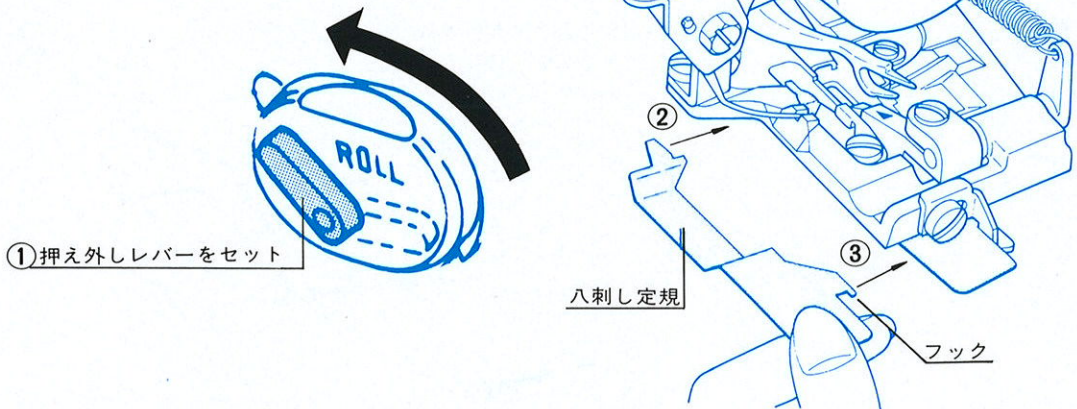
- すくい目の長さを8mm以上にする場合には、レバーをSKIPの方にセットしてください。すくい目は縫い目の2倍の長さになります。



12 八刺し縫い

- 八刺し縫いの場合、

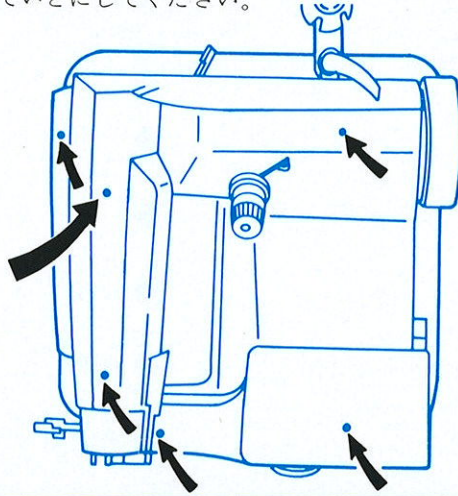
- ①シリンダー左端の押えはずしレバーをROLLへセットし、
 - ②付属の八刺し定規の先端を針板裏面にセットしてください。
 - ③次に八刺し定規のフックをまつり定規に引掛けて下さい。
- ※ ラベルの八刺し縫いの場合には身頃の側より縫ってください。



13 注油のしかた

- 黄印のついている個所に1カ月に1～2回注油してください。1回の注油の量は1～2滴でいどにしてください。

この箇所のみ1回当たり
5滴注油してください



14 点検と調節

- このベビースキイは、むずかしい専門的な調節をすることなく使用できるようになっていますが、つぎのような例は、基本的な調節ができていないときに起りやすい故障ですから、状況を確認して、再チェックしてください。

A) ミシンが動かないとき

- コンセントがぬけていませんか。(第1項参照)
- ベルトがゆるいではありませんか。
- 注油を忘れていませんか。(第14項参照)

B) 縫えないとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第9項参照)

C) 糸が切れるとき

- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 糸調子が強すぎませんか。(第4項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第9項参照)
- 糸の種類はどうですか。

D) 目とびするとき

- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第9項参照)
- すくいダイヤルは、布に合わせてありますか。(第5項参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)
- 糸の強さは布と送り目に合っていますか。(第7項参照)

E) 縫い目の調子が悪いとき

- 糸調子を確かめてください。(第4項参照)
- 送り目に糸調子を合わせてありますか。(第4項参照)
- 糸通しをまちがっていませんか。(第2項参照)

F) すくいむらがあるとき

- すくいダイヤルは布に合わせてありますか。(第5項参照)
- 布を正しく送り込んでいますか。
- 布を定規に合わせて送り込んでいますか。(第3項参照)
- 針がいたんでいたり、とりつけ方がまちがっていませんか。(第9項参照)

梱包明細

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ミシン本体(モーター付) | 10. アクセサリー・ケース |
| 2. コントローラーセット | ● マイナスドライバー |
| 3. 補助テーブル | ● ピンセット |
| 4. 膝上棒(組) | ● 針(LW×6T) |
| 5. 膝当てセット(ネジ付) | ● 油差し |
| 6. クランプセット | ● 掃除用ブラシ |
| 7. 頭部ビニールカバー | ● 八刺し定規 |
| 8. 保証書 | |
| 9. ご使用のてびき | |

仕様表

- | | |
|----------|----------------------|
| ● 縫い方式 | 曲針一本針単糸環縫い |
| ● 縫い速度 | 1200針/分 |
| ● 送り目 | 606型(3%~8%) |
| ● まつり幅 | 標準3.5%(調節可能) |
| ● 一目とび縫い | 一目とび縫い装置付(ワンタッチレバー式) |
| ● 八刺し縫い | 八刺し定規(レバーセット式) |
| ● 使用針 | LW×6T(ラメルツ、シュメツツ) |

株式会社 **ジューキ**

本社/〒102 東京都中央区八重洲2-7-2
(八重洲三井ビル) TEL 03(3272)2851

札幌011(737)6821 仙台022(239)3705 一都山0249(25)4100 新潟0250(43)4451 東京03(3265)8741 名古屋052(962)7631
大阪06(768)3651 倉敷086(473)0355 広島082(227)5781 福岡0942(44)7921